

# 大会実施における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン

岡山県高体連バドミントン専門部

令和4年10月26日改訂

## 1 はじめに

「大会実施における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」(以下、本ガイドライン)は、「公益財団法人日本スポーツ協会のスポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」、日本バドミントン協会の「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」および岡山県教育庁からの通知「部活動の大会や演奏会等への参加に係る留意事項について」等を基に、2022年9月15日現在で得られている知見等も踏まえて作成しています。

なお、本ガイドラインは、今後の感染状況を踏まえて逐次見直す事があります。

## 2 大会実施に当たっての基本的考えについて

岡山県高体連バドミントン専門部(以下、専門部)が主催者として運営に当たる大会は、本ガイドラインを遵守して開催します。ただし、本ガイドラインは、主に政府の方針や上位団体が作成する指針に基づき作成されたものであるため、その適用にあたっては、その時点での政府および各自治体の方針や上位団体が作成するガイドラインが優先されるものとします。

なお、本ガイドラインが対象とする大会および事業は下記(1)～(10)の通りとし、共催事業については、本ガイドラインを踏まえ共催の他団体と協議して実施します。

- (1) 春季大会
- (2) 各地区の予選会
- (3) 岡山県総合体育大会
- (4) 国民体育大会岡山県予選会
- (5) 全日本ジュニアバドミントン選手権大会岡山県予選会
- (6) 秋季大会
- (7) 新人大会
- (8) 各種強化事業
- (9) 各種講習会事業
- (10) その他、専門部が必要とする事業

### 3 新型コロナウイルス感染症の陽性者、濃厚接触者等、体調不良者の定義

#### (1) 「陽性者」とは

以下の症状の有無にかかわらず「PCR 検査もしくは抗原検査により新型コロナウイルス感染症を診断された者」を指します。

— 新型コロナウイルス感染症が疑われる症状 —

発熱、咳、呼吸困難、全身の倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、吐き気・嘔吐 など

#### (2) 「濃厚接触者等」とは

次に定める「濃厚接触者」と「濃厚接触者に準ずる生徒」を指します。

##### ① 「濃厚接触者」とは

新型コロナウイルス感染症の陽性者と生活を共にする家族や同居者を指します。

##### ② 「濃厚接触者に準ずる生徒」とは

新型コロナウイルス感染症の陽性者となった生徒等から、学校が行動歴を聞き取り、学校が次の範囲（※）での特定を行った生徒を指します。

※陽性となった生徒等の感染可能期間（発症 2 日前から）に接触した生徒等のうち、会話（大声や飛沫が飛ぶ会話を想定）の際にマスクを着用していないなど、感染対策を行わずに飲食を共にした場合等

（例 1）昼食、更衣、運動の際にマスクを着用せず、目安として 1 メートルの距離で約 15 分以上の接触があった場合

（例 2）寮や寄宿舎等において同室の場合

（例 3）長時間の接触（1 時間程度、車内同乗等）があった場合

#### (3) 「体調不良者」とは

以下の目安に該当する者と考えられます。

1. 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱などの強い症状のいずれかがある場合。
2. 重傷化しやすい方（基礎疾患がある方）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪症状がある場合。
3. 比較的軽い風邪症状が続く場合。

※発熱症状が出ない感染ケースもあるため、上記症状を感じた場合は必ず下記コールセンター等に相談してください。

岡山県 新型コロナウイルス感染症に関するコールセンター  
一般窓口 TEL:0 8 6 - 2 2 6 - 7 8 7 7

#### 4 大会の開催および実施時の感染防止策について

感染対策責任者は、専門部部長とします。専門部は、感染対策として以下の事柄に留意しながら大会を開催および実施します。

##### (1) 大会参加募集時の対応

専門部は大会参加者の募集に際し、下記①～⑨の通り「感染拡大防止のために参加者が遵守すべき事項」を示し、この事項を遵守することへの協力を求めます。これを遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ますのでご留意ください。

##### —— 感染拡大防止のために参加者が遵守すべき事項 ——

- ① 次の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
  - ア 体調がよくない場合（例：発熱、咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ウ 入国時に原則5日間の自宅待機を求められている者との濃厚接触
- ② マスクを持参し、試合を行っている場合以外はマスクを着用すること。
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ④ 他の参加者、役員等との距離（できるだけ2メートル以上）を確保すること。
- ⑤ 声を出しての応援は禁止する。
- ⑥ 観客席は、席を1つ以上空けて使用すること。
- ⑦ 会場の密を避けるために、試合開始時刻によって集合時刻に時間差を設けるので、集合時刻より前に会場内に入らないこと。また、試合終了後は速やかに体育館から退場すること。
- ⑧ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発病した場合は、各校顧問に速やかに報告すること。
- ⑨ その他、感染防止のために専門部が決めた措置を遵守し、その指示に従うこと。

##### (2) 当日の参加受付時の対応

専門部は、大会当日の受付時に大会参加者が密になることへの防止や、安全に大会を開催・実施するため、以下に配慮して受付事務を行います。

- ① 大会参加者に、感染者が出た場合の対応のため以下の事項を記載した書面（以下、体調チェックシート）の提出を大会参加日ごとに求める。
  1. 学校名
  2. 氏名
  3. 大会当日の体温 ※受付での混雑を避けるため、予め各家庭で検温し記載しておく
  4. 大会前5日間における以下の事項の有無
    - ア 平熱を超える発熱
    - イ 咳、のどの痛みなど風邪の症状
    - ウ だるさ（倦怠感、息苦しさ）

エ 体が重く感じる，疲れやすい等

オ 嗅覚や味覚の異常

5. 大会に参加する生徒の保護者の同意

- ② 受付には手指消毒剤を設置する。
- ③ 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように張り紙などにより注意を促す。
- ④ 人と人が対面する場合は，アクリル板，透明ビニールカーテンなどで遮蔽する。
- ⑤ 受付を行う場合はマスクを着用させる。

(3) 大会期間中の対応

専門部は，感染対策として下記の要領で大会を運営します。

- ① 受付や会場の密を避けるため，試合番号で選手の来場時間を指定する。
- ② 開会式は省略する。なお，競技上および審判上の注意等は，事前に HP 等で連絡する。
- ③ 競技中は，換気の悪い密閉空間とならないように注意し適宜換気を行う。具体的には，フロアへの出入り口の扉を常時開放することや，試合を止めて窓を開け外気を取り入れることなどを行う。
- ④ 会場内の出入り口等に手指消毒剤を設置する。
- ⑤ 掲示物等で「黙食」「手指消毒をすること」等の感染対策の注意喚起を行う。
- ⑥ 試合終了後は，速やかな会場からの退出を促す。
- ⑦ 保護者等の観戦は原則禁止とする。ただし，会場の密を避けることができるなど，感染対策を行いながら大会を実施できると判断される場合は保護者の観戦を認める場合がある。
- ⑧ 表彰式は，密にならないように配慮し簡易的に行う。

(4) 大会期間終了後の対応

体調チェックシートは，万が一陽性者が発生した場合に備え大会終了後 2 週間，専門部が保管し，その後は廃棄します。なお，その際には，個人情報の取り扱いには十分に注意します。

陽性者および濃厚接触者等が発生した場合は保健所および医療機関に情報を提供する可能性があります。症状等を確認するため，各校の顧問の先生は専門部委員長および該当者等へ連絡が取れる体制を確保しておいてください。また，専門部が関係者と情報を共有する場合には，必要に応じて個人情報を取り除いて行います。

## 5 大会参加者および参加校顧問が留意する感染対策について

大会参加者は感染防止のために以下に定める感染対策に十分に留意して行動してください。

また、各校の顧問の先生は、所属する選手等が感染対策を遵守するようにご指導をお願いします。

- ① 普段の生活から、政府が推奨する「新しい生活様式」に従い、一人ひとりが感染対策を行ってください。感染リスクを最小限にするために、新型コロナウイルス感染症の主な感染経路が飛沫感染と接触感染であることを念頭に、感染防止の3つの基本である、十分な距離の確保、マスクの着用、そして、手洗い・手指消毒を含めた以下の感染対策を推奨します。
  1. マスクの着用やソーシャル・ディスタンス確保の徹底、基本的な衛生エチケットの遵守。
  2. 感染拡大のリスクを高める3つの条件（Ⅰ. 換気の悪い密閉空間 Ⅱ. 人が密集している Ⅲ. 近距離での会話や発生が行われる）が同時に重なった環境を作らないための行動に努める。
  3. 各チームは、手指消毒液と施設・用具器具などを消毒できる用具一式を準備して、施設の管理、清掃、消毒を行う。試合や練習でも、手洗いや手指消毒を頻繁に実施する。
- ② 受付や会場の密を避けるため、試合番号で選手の来場時間を指定します。集合時刻より前に会場内に入らないようにしてください。
- ③ 外履きは自分で管理し、下足箱は使用しないでください。
- ④ 試合会場に入る際には、事前に配布された「体調チェックシート」を体育館入り口の受付に提出してください。
- ⑤ ウォーミングアップは距離をあけて行ってください。
- ⑥ プレイヤー同士や監督・コーチとハイタッチ等の接触は行わないでください。
- ⑦ コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行ってください。
- ⑧ シューズの裏を手で拭かないようにしてください。
- ⑨ タオル、スクイズボトル等を共有しないでください。
- ⑩ 新型コロナウイルス感染症の主な感染経路が接触感染であることから、こまめに手指消毒を行ってください。
- ⑪ 試合中以外では、マスクを着用してください。
- ⑫ 更衣室、休憩スペースは感染リスクが比較的高いと考えられます。使用を控えるようにお願いします。もし使用する場合は、短時間での使用を心がけてください。
- ⑬ 観客席では、席を1つ以上空けて使用してください。また、席を移動しないようにお願いします。
- ⑭ 観客席での応援は、声を出さず拍手などで行ってください。また席を移動しての応援はしないでください。
- ⑮ 会場内で食事をとる場合は、会話をせず、密にならないように注意してください。
- ⑯ 自身の試合や役割（審判等）が終了したら、観戦や応援をせず速やかに会場を退出してください。
- ⑰ ゴミはすべて持ち帰り、自宅で処分してください。
- ⑱ 感染防止のために専門部が決めた措置を遵守し、その指示に従ってください。
- ⑲ 各校の顧問の先生は、大会期間終了後に所属する選手等がPCR検査もしくは抗原検査で新型コロナウイルス感染症の陽性が判明し、該当者が発症した時点から2日前までに大会に参加していた場合、速やかに専門部委員長まで報告してください。

## 6 大会期間中に陽性者および濃厚接触者等が判明した場合の対応について

所属する選手等が、下記（１）に該当する場合は、速やかに専門部委員長まで報告してください。また、その際には、各地域の専門家や連携医療機関のアドバイスにもとづく濃厚接触者の洗い出しと、濃厚接触者の抽出、および集団発生に対するリスク管理を行ってください。

### （１）報告する事象

1. PCR検査を予定している、もしくは大会参加後3日以内にPCR検査を予定している場合とその結果が出た場合。
2. 陽性者と診断された（または疑わしい）場合。
3. 濃厚接触者指定を受けた（または疑わしい）場合。

### （２）報告時に網羅いただく内容

1. 症状が発生している該当者の所属、および氏名。
2. 発生している症状と、その期間。
3. 医療機関の受診状況や学校医（かかりつけ医）などへの相談経過。
4. 選手や関係者等への接触歴。 ※症状発生から2日前に遡ること。

### （３）専門部の対応の基本方針

専門部の関係部署で対応を協議します。その際に、保健所および医療機関に情報を提供する可能性があります。

専門部で協議した結果、感染拡大防止の観点から、該当者およびその関係者等に大会出場を辞退していただく場合があります。また、その他専門部の感染拡大防止対策へのご理解とご協力をお願いします。

## 7 新型コロナウイルス感染症に係る行動制限等について

選手等の大会参加について、下記1に定める場合と学級閉鎖期間中については、原則認められません。ただし、薬事承認された抗原検査キット（以下、抗原検査キット）を用いた検査により、大会参加を認める場合があります。

下記2において確認してください。

### 1. 参加が認められない場合

- ア 37.5℃以上の発熱がある。
- イ 咳、のどの痛みなどの風邪症状がある。
- ウ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がある。
- エ 臭覚や味覚の異常がある。
- オ 体が重く感じる、疲れやすい等がある。
- カ 大会参加日7日前までに「陽性者」と認定された。
- キ 大会参加日5日前までに「濃厚接触者」もしくは「濃厚接触者に準ずる生徒」と認定された。

## 2. 新型コロナウイルス感染症に係る行動制限等について

陽性者、濃厚接触者等の定義については、「3 新型コロナウイルス感染症の陽性者、濃厚接触者等、体調不良者の定義」を参照してください。

### 陽性者

- [ 活動制限期間 ] 発症日を0日として、7日間の自宅療養
- [ 活動制限期間の短縮 ] なし
- [ 活動制限期間短縮の手続き ] なし
- [ 部活動等の大会への参加 ] 不可
- [ 大会参加への手続き ] なし

### 濃厚接触者

- [ 活動制限期間 ] 陽性者の発症日を0日として、5日間の自宅待機
- [ 活動制限期間の短縮 ] 5日間から3日間への短縮が可能
- [ 活動制限期間短縮の手続き ] 陽性者の発症日を0日として、2日目、3日目に抗原検査キットを用いた自費検査で陰性確認の後、学校長に報告書を提出
- [ 部活動等の大会への参加 ] 陽性者の発症日を0日として、3日目から可能
- [ 大会参加への手続き ] 陽性者の発症日を0日として、2日目、3日目に抗原検査キットを用いた自費検査で陰性確認の後、学校長に報告書を提出

### 濃厚接触者準ずると特定された生徒

- [ 活動制限期間 ] 陽性者の発症日を0日として、5日間の自宅待機
- [ 活動制限期間の短縮 ] 5日間から3日間への短縮が可能
- [ 活動制限期間短縮の手続き ] 陽性者の発症日を0日として、2日目、3日目に抗原検査キットを用いた自費検査で陰性確認の後、学校長に報告書を提出
- [ 部活動等の大会への参加 ] 陽性者の発症日を0日として、3日目から可能
- [ 大会参加への手続き ] 陽性者の発症日を0日として、2日目、3日目に抗原検査キットを用いた自費検査で陰性確認の後、学校長に報告書を提出

### 所属クラスが学級閉鎖（部が活動停止）と特定された生徒

- [ 活動制限期間 ] 陽性者の発症日を0日として、4日間の自宅待機
- [ 活動制限期間の短縮 ] なし
- [ 活動制限期間短縮の手続き ] なし
- [ 部活動等の大会への参加 ] 大会当日、朝に抗原検査キットを用いた自費検査で陰性確認
- [ 大会参加への手続き ] 大会当日、朝に抗原検査キットを用いた自費検査で陰性確認

なお、大会期間中に陽性者や体調不良者が確認された場合の対応は以下とする。

	陽性が確認された場合	体調不良者が確認された場合
当該選手	出場不可	出場不可
所属チーム	濃厚接触者等ではなく、所属チームの学校長が出場を許可し、大会本部のチェックシートで問題ないと判断できる場合は出場が可能	濃厚接触者等ではなく、所属チームの学校長が出場を許可し、大会本部のチェックシートで問題ないと判断できる場合は出場が可能
対戦したチーム	濃厚接触者等ではなく、大会本部のチェックシートで問題ないと判断できる場合は出場が可能	濃厚接触者等ではなく、大会本部のチェックシートで問題ないと判断できる場合は出場が可能
その他 (同一会場のチーム等)	濃厚接触者等ではなく、大会本部のチェックシートで問題ないと判断できる場合は出場が可能	濃厚接触者等ではなく、大会本部のチェックシートで問題ないと判断できる場合は出場が可能

※濃厚接触者等が抗原検査キットを用いた自費検査で陰性確認の後学校長に提出する報告書は、各学校の様式を使用してください。(学校によっては提出を求めない場合もあるので管理職に確認をしてください。) なお、報告書の様式は、様式1を参照してください。

## 自宅待機期間短縮希望・抗原定性検査の実施同意・同検査結果報告書

学校校長 殿

- 濃厚接触者及び濃厚接触者に準ずる児童生徒等の自宅待機期間の 5 日間について、  
3 日間への期間短縮を希望します。  
(該当する場合、□に✓を記入)
- 自宅待機期間短縮のため、新型コロナウイルス感染症に係る抗定性検査を実施することを同意します。  
(該当する場合、□に✓を記入)

	検査実施日時	検査結果 (いずれかの項目に○を記入)	備考
2 日目	年 月 日 時頃	陰性 ・ 陽性	
3 日目	年 月 日 時頃	陰性 ・ 陽性	

2 日目及び 3 日目の抗原定性検査キット (※薬事承認されたものを必ず用いる) を用いた検査で陰性を確認した場合は、3 日目から解除を可能とする。

※・抗原定性検査キットは自費検査とする

・薬事承認された検査キットの情報 (厚生労働省ホームページ)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_11331.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_11331.html)

- 上記の実施した抗原定性検査キットは、薬事承認されたものである。  
(該当する場合、□に✓を記入)

年 月 日

年 組 番

生徒氏名 (自署)

保護者氏名 (自署)

緊急連絡先